T-グッズ窓枠NB・NDタイプ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書（注：T-ブロックの施工はT-ブロックラテル＆ウォルズ取付説明書を参照してください。）

1 窓枠NB・NDタイプセット

名　　称	員　数			
	NB		ND	
	1型	2型	1型	2型
窓枠NBタイプ本体（1型）	2	ー	ー	ー
窓枠NBタイプ本体（2型）	ー	2	ー	ー
窓枠NDタイプ本体（格子なし）	ー	ー	2	1
窓枠NDタイプ本体（面格子付）	ー	ー	ー	1
窓枠固定金具A	3	3	3	3
窓枠固定金具B	1	1	1	1
クッション材	2	2	2	2
窓枠固定ネジ　M4×20トラス	6	6	6	6

2 現場張り用モルタルセット

名　　称	員　数
専用混和剤	2.5Kg
専用モルタル	10Kg
目地バック	2

3 端部用ブリック L-135

名　　称	員　数
端部用ブリック L-135	10

4 窓枠ブロック上用

名　　称	員　数
窓枠ブロック上用	1

5 窓枠ブロック下用（大）※

名　　称	員　数
窓枠ブロック下用（大）	1

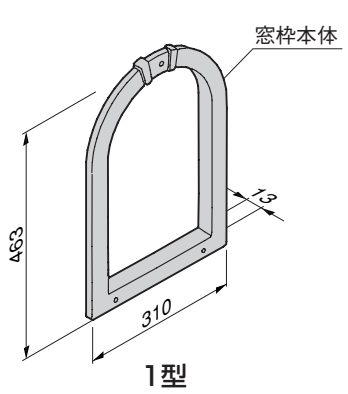
6 窓枠ブロック下用（小）※

名　　称	員　数
窓枠ブロック下用（小）	1

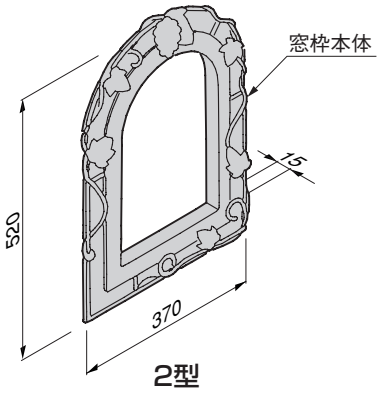
※窓枠ブロック下用（大）または（小）で計2ブロック必要です。

1. 窓枠基本寸法図

1-1 NBタイプ

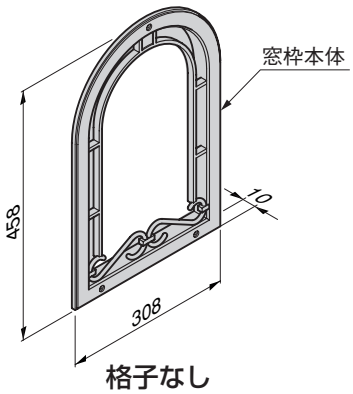


1型

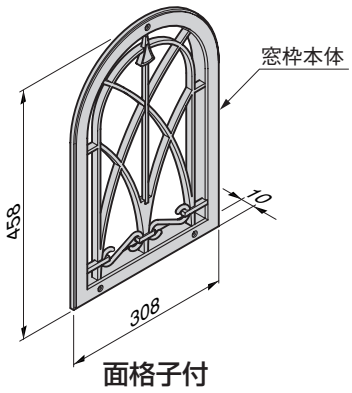


2型

1-2 NDタイプ



格子なし

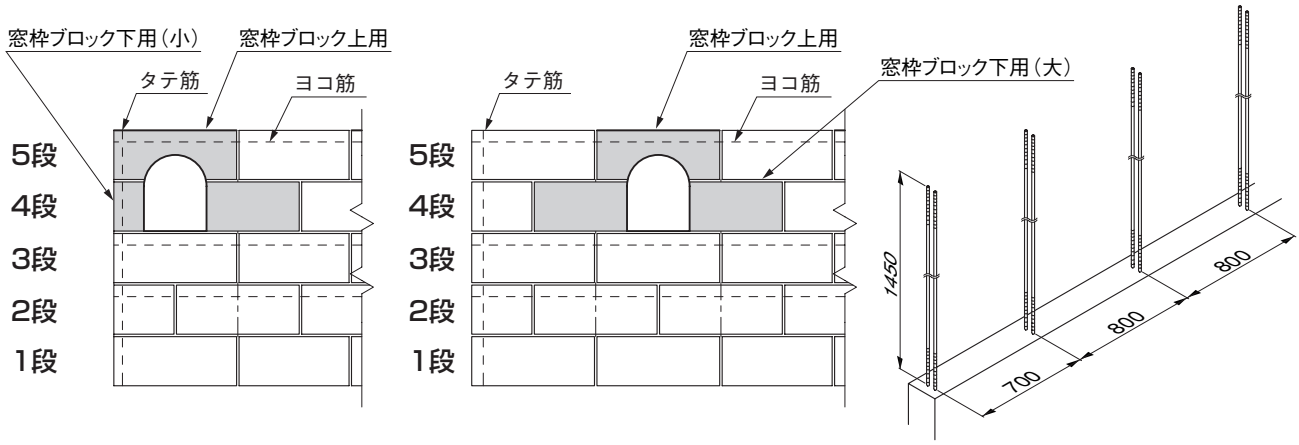


面格子付

<注 意>
● 厚み方向の寸法はブロック壁面からの出幅寸法を示します。

2. 施工の前に（配筋図）

<注 意>
- T-ブロックの施工は「3.ブロックの施工」を参照してください。
- 窓枠を取付けるためには、窓枠ブロック上用と窓枠ブロック下用(大)または窓枠ブロック下用(小)が必要です。
- 本施工の前にブロックを仮組みし、窓枠が取付く位置を十分確認してください。



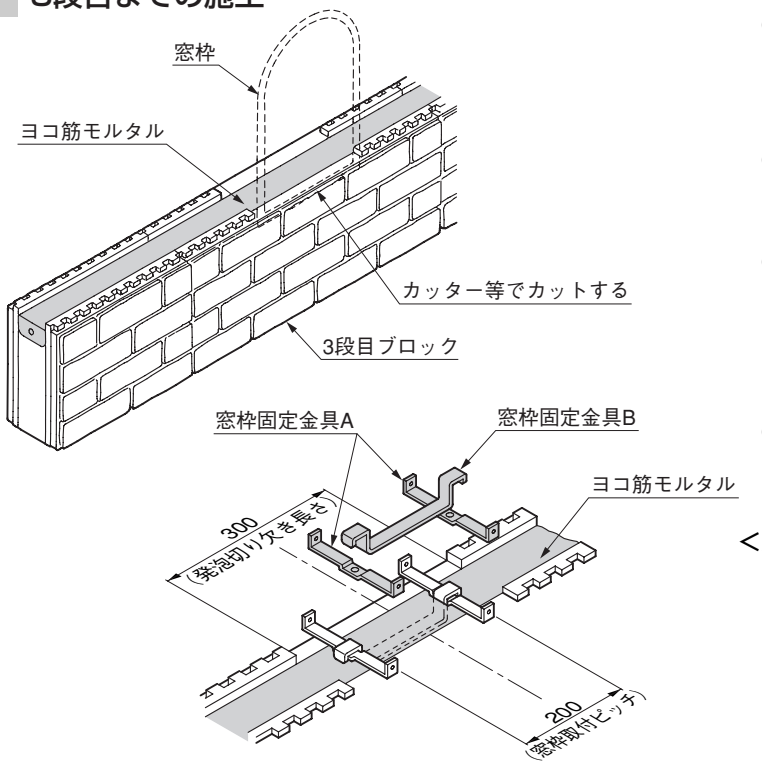
<注 意>
- 上記以外の位置に窓枠が取付く場合、下記の要領に従ってタテ筋・ヨコ筋を配筋してください。

❶ タテ筋は800ピッチ以内になるようにしてください。
❷ ヨコ筋は窓枠が入る段(通常は4段目)をさけ、連続して2段ブロックを積むうち、少なくとも1段に配筋してください。

<注 意>
- T-ブロックの施工はあらかじめ施工図にて、ブロックの割付け、配筋、モルタル充てん箇所を確認してください。

3. ブロックの施工

3-1 3段目までの施工



❶ 3段目までは通常のブロック施工方法と同様です。T-ブロックラテル＆ウォルズの取付説明書を参照してください。

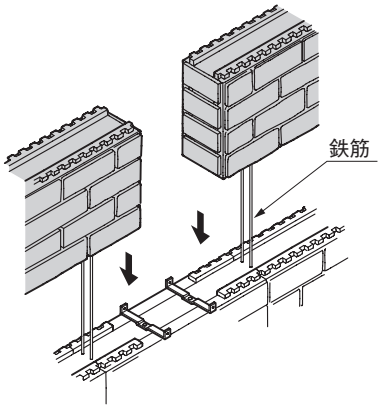
❷ 窓枠を取付ける部分のブロック上部の凹凸部をカッター等でカットしてください。

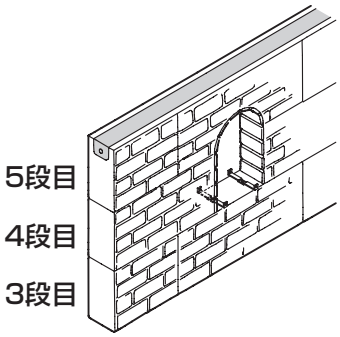
❸ 2段目、3段目には、ヨコ筋を配筋しモルタルを充てんしてください。また、窓枠を取付ける部分のモルタルは平らにならしてください。

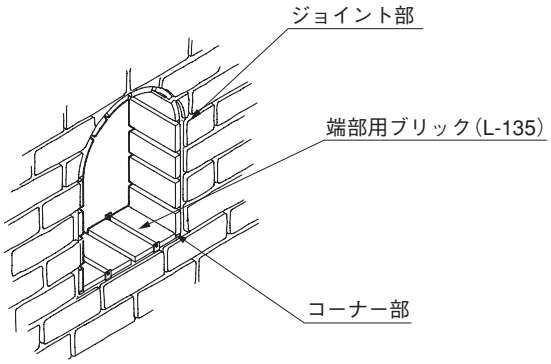
❹ モルタルが硬化する前に、3段目のヨコ筋モルタルの中に窓枠固定金具を図のように埋込んでおきます。

<注 意>
- 窓枠固定金具AおよびBをつけた状態でのモルタル塗りは金具の位置がずれないように十分注意してください。金具がずれますと、窓枠との穴位置があわなくなり、取付かなくなる事があります。

3-2 4段目・5段目の施工





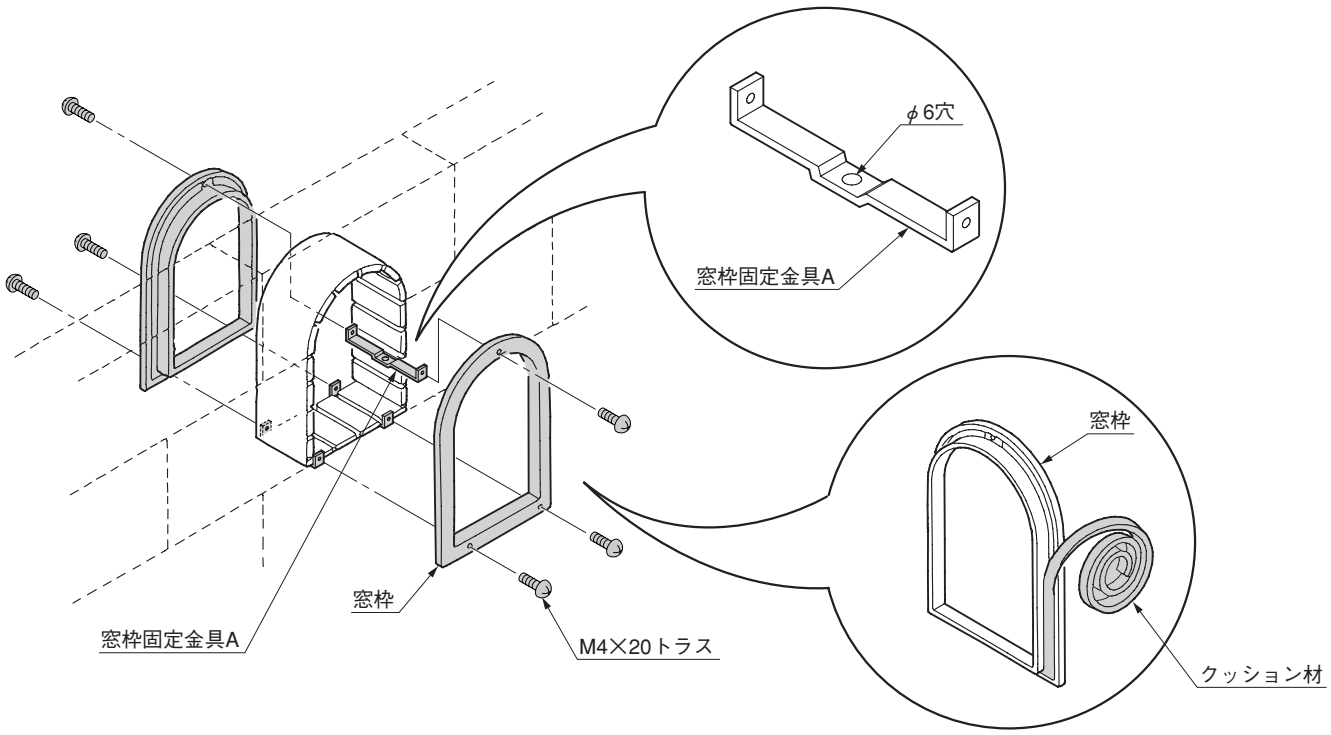


❶ 窓枠ブロック下用(大)または(小)をジョイント凹凸部にはめ込み、タテ筋部分にモルタルを充てんしてください。

❷ 窓枠ブロック上用をジョイント凹凸にあわせ、同様に施工してください。なお、5段目にはヨコ筋を配筋し、モルタルを充てんしてください。

❸ ブロック内部のモルタルが完全硬化した後、窓枠の下側の部分に端部用ブリック(L-135)を現場張り用モルタルセットで張付け、またコーナー部およびジョイント部に隙間がある場合はモルタルで隙間を埋めてください。

4. 窓枠の取付け



❶ 窓枠の裏のヘコミにあわせるようにして、クッション材を貼付けてください。
❷ 窓枠固定金具Aを窓枠2枚(表裏)で、はさみ込んだ状態でM4×20トラスネジを用いて窓枠を固定してください。

<注 意>

- 窓枠固定金具Aには中心部にφ6の穴があいています。吊り下げ式のプランター等を吊るす場合に使用します。

5. 施工上、使用上の注意事項

＜T-ブロック商品に対する知識＞

■自然な風合いを出すため、表面の凸凹や色合いはブロックにより違いがあります。

■ブロックごとの目地色の濃度に個体差が生じます。

- お届け時または施工後、季節・施工条件などにより目地モルタル表面が一部白くなる場合がありますが、性能などに問題はありません。

＜施工上のご注意＞

■運搬および保管

- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。
- 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると、紫外線により表面が劣化するおそれがあります。
- 発泡芯材部は80℃以上になると変形しますので、高温のものや火気がない場所に保管してください。

■施工

- 充てんモルタルが硬化するまで添え木などで支え、ずれたり倒れたりしないように注意してください。
- 気温が 5 ℃以下になる場合は施工を避けてください。
- 充てんモルタルから水分がブロック表面に流れ出た場合は、速やかに水洗いしてください。白華の原因になります。
- 接着やコーキングは当社指定の「専用接着剤」を使用してください。
- ブリックや目地に直接ビス類で、ポスト等重量物を取付けないでください。落下するおそれがあります。
- 表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシなどで水洗いをしてください。金属ブラシでの清掃はブリック表面を傷めますので行なわないでください。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意してください。
  （例：有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリンなど）

＜使用上のご注意＞

■年に 2 ～ 3 回の水洗いをしてください。

■清掃には金属製ブラシや金ベラは使用しないでください。表面を傷めるおそれがありますので、柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをしてください。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意してください。

■シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けてください。

■商品の発泡芯材は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが、80℃以上で融解する性質があります。火気や高温のものを近づけないでください。

工事店様へ

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。次回も当社製品をご使用ください。

取説コード
F160
200003A